

プリンティング札幌

[Website] <http://sapporo.print.or.jp/>

[E-mail] info@sapporo.print.or.jp

北海道情報・印刷文化典札幌大会を終えて..... P2

役員会報告 P3

北海道情報・印刷文化典札幌大会 P4~P8

2014北海道情報・印刷産業展 P9~P11

青年部委員会より「第20回北海道青年印刷人
フォーラム」報告 P12~P13

教育・研修委員会より
印刷の月事業 P14

教育・研修委員会より
第3回MUDコンパティション募集要項... P15~P18

教育・研修委員会より「特別ライセンスプログラムCC」
更新手続き・新規募集のご案内 P19~P20

環境・労務委員会より 全印工連CSR認定制度
「第7回ワンスター認定」のご案内 P21~P22

経営・革新マーケティング委員会より
PODバスツアーのご案内 P23

おしらせ P24

セミナー案内
・RICOH Value Presentation P25

組合員紹介 P26

編集後記 P27

[表紙写真] 昭和36年10月 大通西3
(有さっぽろフォトライブ)

VOL.
466
平成26年10月10日発行



HOKKAIDO
PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION
SAPPORO BRANCH

※この冊子はオンデマンド機 RICOH Pro C901sで印刷しています。

発行所 / 〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目 エイト会館
北海道印刷工業組合札幌支部 TEL.011-531-6061
発行人 / 支部長 岸 昌洋
編集人 / 経営革新・マーケティング事業委員長 加藤 景



古紙100%再生紙



北海道情報・印刷文化典札幌大会
実行委員長

岸 昌洋

第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会を終えて

実行委員長を務めさせていただきました、第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会が9月5日に無事、終わることができました。

札幌支部主管での文化典開催は、53年振りとなった訳ですが皆様にご協力頂きまして、式典には180名、記念パーティーには172名の方々にご参加頂きました。

実行委員会を代表し、お越しいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

今回は、開催テーマを「新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの道」とし、「ソリューション・プロバイダーへの深化」と題した講演を全日本印刷工業組合連合会の島村会長をお願いいたしました。

我々は今、過去に例を見ない多面的変化の時代にいます。

様々な変化と、多様化に対応するために必要なことは、今まで当たり前のようにやってきたことを一度リセットし、新たな価値と常識、新たな未来を創造することが必要です。

そのためには、ソリューション・プロバイダーとして自社の変革を勇気と「覚悟」をもって推し進めることが求められます。

長い歴史の中で「情報を伝達する媒体」であった「紙」は、印刷という手段で同じ情報を大量に複製し、コミュニケーションツールまたは、マスメディアとして人々の生活に定着していました。

しかし、「情報を伝達する手段」が多面化し、人々の「情報を取得する手段」が多様化している現在、従来の「印刷」という手段はすでに時代の変遷期に直面しています。

印刷物の消費量イコール、情報の消費量に比例するのであれば、減ることは避けられません。

現実を直視し、単に希望的観測を個人の見解として「評論」しているだけではなく、情報としての価値を紙に持たせ、媒体としての価値を高めるということを「当事者」として経営判断を迫られている現状があります。

ソリューション・プロバイダーへの道は、まさにそのためのステップであります。

今回の文化典は、2014北海道情報・印刷産業展と併催し行いました。

3日間で、計6,100人あまりの入場を頂きました。足をお運び頂いた方々には、経営判断のシーズに結び付けていただけることを祈念いたします。

最後に本文化典開催にあたり、各業界団体はもとより、ご協力、ご後援いただきました皆様、ご支援賜りましたメーカー・ベンダー各社の皆様、そしてご参会いただきました皆様に感謝申し上げます。

北海道情報・印刷文化典札幌大会 実行委員長

岸 昌洋

北海道印刷工業組合札幌支部 平成26年度9月定例役員会 役員会報告

[日時] 平成26年9月25日(木) 13:30～ [会場] エイト会館

■出席者：岸支部長・加藤委員長・大和委員長・山委員長・矢吹委員長・岡部委員長・
河口分区長・郡司分区長・五十嵐

■議事録担当：五十嵐

■議事進行：岸

1. 支部長挨拶／岸支部長

2. 協議事項

①2014北海道情報・印刷産業展報告／岸支部長

H26年9月4日～6日 来場者6,100名

来年はアイガスがあるため、開催の有無については10月31日の関連業協議会役員会にて検討する。

②北海道情報・印刷文化典札幌大会報告／各委員長

山委員長 札幌大会の収支決算については、当初の予算内で収まりそう。

矢吹委員長 パークホテル行きのバスはガラガラだったが、ご案内はできた。ただ、機材展見学への移行がスムーズにいかなかった。

大和委員長 記念パーティは172名出席。「こんちはる」ショー、お料理も大変好評とのことでした。

③「印刷の月」事業報告／矢吹委員長

札幌市の他ボランティア団体に対し印刷物による協力を行う事でともに地域活性化を目指すという趣旨のもと、モエレ芸術花火2014へのプログラム印刷協賛を実施。約15,000人来場した。予定部数では足りず、増刷した。当日の花火大会も迫力があり大変良かった。

④事務局規程見直しの件／山委員長

専門家に確認しながら改定していく。

⑤平成26年度札幌市優良工場並びに優良従業員推薦について

優良従業員は北分区所属、小南印刷(株)鈴木茂実氏を推薦。優良工場については今年度は該当なし。9月22日書類提出済み。

⑥PODメーカーショールーム見学ツアーの件／加藤委員長

4社(キヤノン、富士ゼロックス、コニカミノルタ、リコー)をバス1台借りて各社プレゼン及びショールーム見学ツアーを実施する予定。1社、約1時間30分。定員は、先着40名を想定。見学後は懇親会を予定。

⑦MUD検定開催について／矢吹委員長

札幌で開催するには、100名くらいの受講者が必要。組合員だけではなく幅広く声をかける。平成27年6月開催予定。

3. 委員会報告／各委員長

・経営革新・マーケティング委員会／加藤委員長

PODツアーについては10月にメーカー各社と打合

せ予定。プリンティング札幌10月号に案内と申込書を掲載する。また、全印工連の委員会で勧めている共創ネットワークについては現在北海道(北海道磁気印刷、ホクラミ、中西印刷)・静岡・香川・愛媛より申し込みがある。

・環境・労務委員会／大和委員長

9月12日(金)CSR委員会開催。CSRセミナー(90分)開催の有無、JPPS(印刷業だけの個人情報保護の資格認定制度)の実施について。

・組織・共済委員会／山委員長

未収金の件、中間決算の件、下期の予算について検討。

・教育・研修委員会／矢吹委員長

印刷の月事業、MUD検定について。

・青年部委員会／岡部委員長

9月6日(土)第20回青年印刷人フォーラム報告。札幌支部より12名、他支部より6名出席。講師の(株)プリプレス・センターの藤田社長より事例紹介等大変興味のあるお話が聞けた。そのあとは、「グローバル」について2つのグループに分かれてグループディスカッションを行った。

4. 分区報告／分区長

・東分区／河口分区長

9月11日(木)コロポックルにて6社6名出席。岸支部長が当番幹事で分区員全員が参加し大変盛り上がりました。

・西分区／加藤副支部長(代理)

9月16日(火)～17日(水)小樽にて一泊観楓会開催。9社9名出席。雑談の中で各社のプチプレゼン大会を行った。

・南分区／山分区長

文化典札幌大会開催のため未開催。

・北分区／郡司分区長

文化典札幌大会開催のため未開催。

5. 月次決算報告／五十嵐

第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の入出金の確認、決算の準備。

6. その他

①「プリンティング札幌10月号」の件

②入会金の有無について

③札幌支部分の賦課金のランクについて

次回予定：10月27日13時半より開催

第30回 北海道情報・印刷文化典札幌大会 盛大に開催される

『新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの『道』』

第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会が、「新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの『道』」をテーマに、9月5日、全道から組合員はじめ来賓・関連業界の方々180余人が出席して開催された。

記念式典が午後1時30分から、記念講演が午後2時40分から、北海道情報・印刷産業展見学が午後3時30分からアクセスサッポロで行われた。

会場を札幌パークホテルに移して、午後6時30分から記念パーティが行われた。

札幌での情報・印刷文化典は、昭和36年以来53年ぶりの開催で、今回は2014北海道情報・印刷産業展とコラボレーションしての開催となった。

次回、2017年の第31回北海道情報・印刷文化典は、旭川支部の主管で開催される。

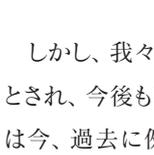
<記念式典>



山 浩司
副実行委員長

記念式典は、冒頭、前回のオホーツク大会以降に逝去された組合員16人に黙祷を捧げた後、山浩司副実行委員長の先導で印刷産業人綱領唱和が行われた。

次に、岸昌洋副大会長・実行委員長が、最初に来札と参加のお礼を述べ、「今回は、開催テーマを『新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの道』とした。現代の印刷産業は、もはや高度経済成長下での装置産業として同質の競争を繰り広げてきた今までのビジネスモデルが、まったく通用しなくなった。



岸 昌洋
副大会長・実行委員長

しかし、我々はこれからも社会に信頼され、世の中に必要とされ、今後も事業を継続させなくてはならない。そして我々は今、過去に例を見ない多面的変化の時代にいる。さまざまな変化と多様化に対応するために必要なことは、今まで当たり前のようにやってきたことを一度リセットし、新たな価値と常識、新たな未来を創造することが必要である。そのためには、ソリューション・プロバイダーとして自社の変革を『勇気』と『覚悟』をもって推し進めることが求められる。長い歴史の中で『情報を伝達する媒体』であった『紙』は、印刷という手段で同じ情報を大量に複製し、コミュニケーションツール、またはマスメディアとして人々の生活に定着していた。しかし、『情報を伝達する手段』が多面化し、人々の『情報を取得する手段』が多様化している現在、従来の『印刷』

という手段はすでに時代の変遷期に直面している。印刷物の消費量イコール情報の消費量に比例するのであれば、減ることは避けられない。現実を直視し、単に希望的観測を個人の見解として『評論』しているだけではなく、情報としての価値を紙に持たせ、媒体としての価値を高めるということ、『当事者』として経営判断を迫られている現状がある。ソリューション・プロバイダーへの道は、まさにそのためのステップである」と歓迎あいさつを述べた。



板倉 清
大会長

参加支部紹介が行われたあと、板倉清大会長が、「札幌での、北海道文化典開催は、昭和36年以来、53年ぶりの開催になる。今回は、『新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの道』をテーマとして、現在、隣の会場で開催されている2014北海道情報・印刷産業展とコラボレーションして、新しい運営方法・スタイルで開催する。本文化典の開催にあたり、多数の来賓、関連業界の皆様、そして全道から組合員を迎えて、このように盛大に開催できることは、この上ない喜びである。道内印刷業界を取り巻く環境は、未だにアベノミクス効果が、実感できなく、需要の減退、原材料価格の値上がり、価格競争の激化等、負の要因に拍車がかかり、収益が著しく低下するなか、デジタル技術の急進展による技術融合、業際化、顧客のペーパーメディアから他メディアへの流失など、様変わりしてきており、これまで経験したことのない、大きな変革への対応が迫られている。我々は、自ら、本文化典のテーマである『ソリューション・プロバイダー』として、持続可能な成長を果たし、未来を創る印刷産業として、進化

を遂げるより勝ち残る方策はない。こうしたときに開催する本文化典は、全道の組合員が一堂に会し、喫緊の問題や課題を共有し、討議を行い、研鑽を重ね、親睦を深め、連携をより強固にし、企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスの供給に努め、国民生活および文化を支える産業として、前進を期する、誠に時宜を得た、意義深いものと確信している。本文化典が、『ソリューション・プロバイダー』としての、未来像を描く契機となることを願って止まない。

組合では、いろいろな事業を行っている。なかでも、広報事業、研修事業、親睦事業は、中心事業である。

本日、その1つである「北海道の印刷」を、皆様の手元に届けている。何と、通巻700号である。創刊は、昭和27年12月の「北海道印刷界情報」と聞いている。実に60年におよぶ歴史が、組合事業として脈々と受け継がれている証である。これからも、皆さんと一緒に育んで行きたい。

長年にわたり、企業の繁栄に貢献され、本日、栄えある永年勤続優良従業員表彰を受けられる皆様に、衷心より、敬意と祝意を申し上げる」と述べた。

次に、来賓を代表して4人から祝辞が述べられた。



寒川卓知氏
(北海道経済産業局)

寒川卓知経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「政府では持続的な地域経済の好循環を実現しようということで全力を上げている。

そのためには何よりも地域の中小企業の活性化と多様な活躍の場を作っていくということが重要と思っている。これまで流れを変えるために設備投資、イノベーション促進などさまざまな展開を図ってきたが、これからは地域と中小企業の振興にさらに注力をしていきたい。こうした状況のなか、ますます大切になるのが地域の中小企業の皆様、組合の役割である。なかでもこの激動する経済社会のなかで、物事の成否を決する情報を、商品として扱い方一つで価値も変わってしまう。それを見える化して、内外の人や企業に橋渡しをし、価値の創造を担っている印刷業界の皆様の活躍が本当に欠かせない。時代とともに情報化、提案型産業等の取り組みが印刷業界の中で広がっていき、環境、価値観、技術も大きく変化してきている。その間、業界では、CSR認定、ユニバーサルデザインの促進など、さまざまな取り組みをして進化してきた。その成果である印刷は、常に私たちの側にあり、どんなものにも印刷できるという領域にまで広がっている。一方で、技術革新により印刷が手軽に消費者でもできる時代になり、そのなかでプロの皆様が担う分野はより高度で、より一環した利便性や実効性が求められている。まさに皆様が追及しているソリューション・プロバイダーとしての役割が本当に重要になっていることを示しているのではないか。これは経済社会

のなかで不可欠で、身近な存在である印刷だからこそ求められているそんな気がしている」と述べた。



辻 泰弘氏
(北海道)

辻 泰弘北海道経済部長は、「情報通信機器の普及などに伴う情報技術や通信手段の目ざましい進歩により印刷業界を取り巻く環境が大きく変化しているなか、北海道印刷工業組合の皆様には、新しい時代の印刷産業を広くアピールするなど、印刷業が情報価値創造産業へ変わるための牽引役として大きな期待が寄せられている。『新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの道』をテーマとして開催される本大会を契機として、多様なニーズにも柔軟に対応することができる業界を目指している皆様、知恵と技術を結集して、新たな事業に取り組んでいくことを期待している。道としては、持続的に発展する北海道を築いていくため、本道の強みを活かす自立型経済の実現に向けて、ものづくり産業の振興や中小企業・小規模事業者の皆様の支援など、地域を支える産業力の強化に向けて重点的に取り組んでいく」と述べた。



井上唯文氏
(札幌市)

井上唯文札幌市副市長は、「印刷業界を取り巻く環境は、ICT技術の進展や為替の影響に伴う原材料費、光熱費の変動など大変厳しいものがあるが、北海道印刷工業組合傘下の皆様一堂に会し、この業界の一層の発展を目指していることに対し心から敬意を表す。札幌の印刷業は、製造品出荷額で全体の約15%を占めており、本市の製造業のなかでは食料品製造業に次ぐ産業である。製造業は他産業への波及効果が大きく、高付加価値型産業の代表であるので、さらなる経済の発展のため、その振興が非常に重要だと考えており、印刷業を含めた製造業の皆様さまにさまざまな支援策を行って来た。最近では事業者の省エネの取り組みに対する支援として札幌型スマートファクトリー化推進支援事業を実施している。これは印刷業や金属機械製造業が集積する工業団地を対象に、電力の見える化や専門家による助言などによって、電力利用の効率化によりコスト削減に繋げる事業である。設備の導入に対する支援として、LED照明器具や高効率ボイラー等、省エネルギーに繋がる製品の導入に対して補助金の支援を行う札幌エネルギーエコプロジェクト事業を行っている。印刷業は製造業のなかでも、大量に電力を消費する業界でもあるので、皆様には是非こうした取り組みを利用いただければ幸いである」と述べた。



島村博之氏
(全日本印刷工業組合連合会)

島村博之全日本印刷工業組合連合会会長は、「印刷業界は非常に厳しい状況にある。1991年をピークに売上高は減り続け、2012年段階では5.6兆円まで下がってき

ている。こうした状況のなかで、印刷業界は衰退し続けるという予測も出ているが、我々全印工連の印刷会社は全くそう考えていない。4年前に、昨年出た『印刷道』の1つ前の印刷産業の成長戦略提言を発表した。その時に2020年、10年後、我々の産業はどのように衰退するという予測を数字で表した。しかし、それはあくまでも今までのビジネスモデルに則ったかたちで事業をしていけば、どんどん衰退していく。しかし、メディアが新しくなっていくなかで、我々がしっかりとソリューション・プロバイダーとして業態変革をしていけば、決してこの予測通りに企業自体が衰退していくわけではないという提言をした。それぞれの会社が、新しいメディアに対して、どのように取り組んでいくのか。決して情報量が減っていくわけではない。情報を発信するメディアが変わってきていることに過ぎない。その新しいメディアに対して、コンテンツを制作している業界は何処なのか。これを認識したときに、我々印刷産業人は、どのように自分の会社を変えていかなければならないのかということはずと分かると思っている。スマートフォン、タブレット、PC、コンテンツは同じものではなく、多くのパーソナライズ化されたコンテンツを必要としていく。その何百万、何千万というコンテンツを作っていく業界は今存在しているか。残念ながら存在していない。まさに、このコンテンツを作っていくのが、我々印刷業界のそれぞれの会社である。全印工連の組合員、現在5,200社、全印工連に入っていない印刷会社その倍、我々全印工連の



組合員は、将来にわたって少なくなっていく印刷業界のなかで、しっかりと勝ち残るために日々勉強し、学習し、研鑽して、お互い切磋琢磨をして勝ち残っていく」と述べた。

祝電披露につづき、永年勤続優良従業員表彰が行われ、30年勤続2人、20年勤続12人、10年勤続2人のうち、当日出席した8人に板倉理事長から表彰状と記念品が贈られた。(受賞者氏名は9頁に掲載)



花田光吉 氏
(北陽ビジネスフォーラム)

受賞者を代表して、北陽ビジネスフォーラム株式会社の花田光吉氏から「このように多くの皆様のもとで、盛大な表彰式を挙行していただき、その上、表彰状ならびに記念品を賜りましたことは、まことに身にあまる光栄です。過ぎ去った長い年月を振り返ってみても、社員として当然のことをやってきただけで、表彰に値するような功績は何一つとして思い当たりません。ただ、与えられた仕事を精一杯やり遂げることができたという、働く者の喜びだけはしっかりと掴み取ることができたと思っています。今後も、社業の発展のため力の限り職務に尽くして参ります」と謝辞が述べられた。



矢吹英俊
副実行委員長

次に、矢吹英俊副実行委員長から、「ソリューション・プロバイダーとしての未来像を探求し、情報価値創造産業の使命を果たし、有益な印刷製品・サービスの供給に努め、国民生活および文化を支える産業として、さらなる発展を期して一致団結して社会に貢献する」という第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。



井田多加夫
旭川支部長

つづいて、2017年の第31回北海道情報・印刷文化典の開催地を板倉理事長から「旭川支部」と発表され、旭川支部の皆さんが登壇し、大会鍵が岸札幌支部長から板倉理事長へ、そして井田多加夫旭川支部長へ引き継がれた。

井田旭川支部長が、「3年後は旭川で会いましょう」と呼びかけた。

あらゆる媒体への印刷を可能に…

プラスチックカードのことなら
バーコード・エンコード
入出力対応!
短期・印刷態勢完備!

- プリペイドカード
- 磁気入プラスチックカード
- プラスチックIDカード
- IC(RFID)カード

FSC 福井商会株式会社
〒003-0029 札幌市白石区平和通8丁目北6-11 TEL:(011)861-6830 FAX:(011)863-1528
E-mail:info@fukui-shoukai.co.jp URL:http://www.fukui-shoukai.co.jp

RICOH
imagine. change.

RICOH Pro C5110S/C5100S
www.ricoh.co.jp/pp/pod/

※写真はRICOH Pro C5110S にオプションを装着したものです。

リコージャパン株式会社 〒060-0807 札幌市北区北7条西2-8-1 札幌北ビル
TEL:011-700-5505 FAX:011-700-5532

以上で、第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会記念式典を終了した。

<記念講演>

記念講演は、午後2時40分から、島村博之全日本印刷工業組合連合会会長を講師に迎え、「ソリューション・プロバイダーへの深化」をテーマに開催された。

島村会長は、(1)印刷産業の過去と現在の状況について、①印刷産業の出荷額・事業所数・従業員数の推移、②リーマンショック以後の印刷需要の減少、③印刷会社の営業利益率の推移、④出版物の減少と電子書籍市場の推移、⑤官公需の競争激化、⑥広告費の減少、⑦メディアスイッチ、⑧人口の推移、⑨2020年までのGDP成長予測、⑩中小・中堅印刷会社の売上高と出版・商業用オフ輪台数の伸び率比較、⑪2020年までの印刷市場規模予測、⑫印刷市場規模と印刷事業所の推移予想をもとに説明した。

(2)ソリューション・プロバイダーに必要な3つの要素として、①原点復帰、②ワンストップ対応、③経営者の志について説いた。

(3)ソリューション・プロバイダーの6類型について、①地域活性プロモーター、②特定機能プロバイダー、③特定業界スペシャリスト、④メディアプロダクトメーカー、⑤パーソナルメディアショップ、⑥印刷製造スペシャリストについて事例を交えて披露した。

(4)ソリューション・プロバイダーへのステップとして、①現在の事業ドメイン(強み)の分析、②内外の環境変化を整理、③新ドメインの再定義・6類型の選択、④具体的ソリューション(手法)の選択、⑤行動計画と実践を訴えた。

最後に、「志高き経営者として『印刷道』を実践し、新しい『Insatsu 産業』を私たちの手で作り上げ、日本のそして世界の平和と繁栄に貢献しよう!『Insatsu』が世界を変える!」と結んだ。



2014北海道情報・印刷産業展見学

記念講演終了後の午後3時30分から、今回の情報・印刷文化典の新しい企画である「2014北海道情報・印刷産業展」の見学が行われた。

<記念パーティ>

記念パーティは、午後6時30分から札幌パークホテルで170余人が出席して開催された。



加藤 景
副大会長

最初に、加藤 景副大会長が、「本日は、記念式典から始まり、記念講演、産業展と盛り沢山の1日、本当に暑いなかお疲れさまでした。メインイベントの記念パーティがこれからスタートする。皆さんお疲れなので、皆さんを労う美味しい料理。お酒、そして札幌一最適なコンパニオンさんに協力いただき、皆さん多いに満喫していただければと思っている。アトラクションに松山千春さんのものまで有名な、こんちはるさんをお願いしている。アトラクションというよりはおそらくディナーショーになると思う。皆さん期待いただければと思う」と歓迎あいさつを述べた。

次に、板倉理事長が、「記念式典で60年間続けている会報があり、これは印刷組合が続いてきた結果であるという

ラミネートのことならホクラミへ

ラミネート加工

プリントサービス

ノベルティ製作

株式会社 **ホクラミ**
TEL(011) 512-3378

FAX(011) 512-4289
E-Mail:hokurami@h-ls.com
札幌市中央区南9条西12丁目2番30号

<http://www.h-ls.com> |ホクラミ 検索

「伝える」チカラ。

- ビジネスフォーム ●平版印刷 ●製本 ●OCR ●カーボン複写伝票
- 一般事務用印刷物 ●オンデマンド印刷 ●新聞 ●記念誌 ●各種テキスト
- パンフレット ●チラシ ●ラミネート ●印刷デザイン各種 ●ホームページ作成

PASCAL
株式会社パスカル・プリンティング
<http://www.pascal-printing.com/>

□[本社・工場] 〒063-0836 札幌市西区発寒16条14丁目4番5号
TEL.011-663-9101 FAX.011-662-8304

ことを申し上げた。実はもう1つある。この大会そのものである。昭和25年のスタートと聞いている。64年の時間を経ていることになる。諸先輩方が、印刷産業を地域に根ざし、経済を栄えさせていこうという思いでこの大会を続けてきたのではないかと想像している。この大会を続けていくには皆さんの親睦、絆がなければなかなかできない。絆を築いていただき、親睦を図っていただき、この大会が2017年、2020年、2023年と続けることを皆さんと一緒に祈念したい」と述べた。



荒井 功氏
(札幌市)

来賓祝辞で、荒井 功氏

札幌市経済局長が、「印刷業界を取り巻く環境は皆さんもご存知のとおり、電力の値上げ、為替の変動等いろいろな問題が山積しているが、そういったなか、皆さん一致団結して業界の発展のために尽力されていることに改めて敬意を表す。今回の札幌大会のパンフレットを拝見させていただくと『新たに見つけようソリューション・プロバイダーへの道』と題されている。伝統的な印刷をされている方はもちろんであるが、そういった方々も新しい業態、分野への取り組みが、ここ近年進んでいるのかと思っている。そしてこの題にもあるように、新しい道を模索する努力が各方面でされているのではないかと推察する。改めてそういった努力に対して敬意を表す。これからグローバル化あるいは市場規模が縮小していき、環境はどんどん変わって来るが、皆さんの努力でそういったものに上手く対応し、乗り切っていく、皆様の企業がこれからますます発展していくことを願っている」と述べた。



加藤礼一氏
(北海道議会)

つづいて、加藤礼一北海道議会議長が、「今日3時頃アクセスへお邪魔して見させていただいた。昔と違って印刷業界は機械化が進んで素晴らしい進歩であるが、それ以上に今日お集まりの皆さんがこれからの

新しい業界の体制を変革していこうという熱気に溢れた大会になっているのではないかと改めて感じた。これからも非常に厳しい時代であるし、ITの時代からICTの時代でコミュニケーションが改めて入ってきた時代であるから、これから先駆的な役割として皆さんの業界が、ますます先頭を走っていただけるようであり続けていただくことを祈念する」と述べ、乾杯し、開宴した。

会食と歓談がつづくなか、アトラクションとして、こんちはるさんが登場し、会場を興奮と笑いの熱狂の渦に巻き込んだ。



大和繁樹
副実行委員長

旭川支部の皆さんが3年後の文化典のピーアールを行ったあと、大和繁樹副実行委員長が、「昼の式典から始まり、島村会長の講演会、産業展、記念パーティーとお疲れ様でした。

こんちはるさんでは、皆さん大いに盛り上がっていただいた。3年後には皆さん元気な顔をそろえて旭川でお会いできればうれしいと思う」述べ、本日参会の皆様への健勝、各企業の発展と印刷業界の明るき未来を祈念して、一丁締めで、記念パーティーを終了した。

ビジネスフォーム

一般商業印刷

ロールペーパー

システム開発

ITC SUPPLY
ITS

温もりが情報をかえる

株式会社 **アイテックサプライ**
札幌市東区北10条東2丁目 三上ビル3F
TEL(011)748-3777 FAX(011)748-3778
釧路営業所／釧路市川上町4丁目2-1 まるたビル6F
TEL(0154)32-1100 FAX(0154)32-1101
工場／札幌市東区北36条東26丁目2-39
Shop／プリントスタジオアーチ
札幌市中央区南1条西6丁目 東急ハンズ札幌店6F

スピードと品質を両立させ

環境にも配慮した

LED-UV印刷システムを導入!



株式会社 **東和プリント**

〒060-0006

札幌市中央区北6条西14丁目1番地1ユーアイN6ビル
TEL 011(208)5535 FAX 011(208)5538

2014北海道情報・印刷産業展が 盛大に開催される

49社153社小間が出展、来場者6,100人

北海道印刷工業組合と関連の6団体で構成する北海道情報・印刷産業展実行委員会が主催する2014北海道情報・印刷産業展が、9月4日、5日、6日の3日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで49社153小間の出展で開催された。

設備導入、情報交換の場として、ユーザーはじめ関係者から高い評価を得て、会期中6,100人の来場者で賑わった。

また、4日に開催した3つのジャンルの公式セミナーも大盛況であった。

2014 北海道情報・印刷産業展は、21世紀の情報化時代を見据えて、ICT時代に対応するために開催され、北海道の印刷関連業者に的確な情報を提供するため、プリプレス、プレス、ポストプレスに加えて、各種ソリューションまで全工程にわたる最新機材や、ソフトウェア、資材、情報機器等が展示された。

展示会初日の9月4日午前9時30分から、来賓・出展者などが出席して開会式が開催された。



板倉 清
実行委員会 会長

最初に、板倉 清実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、来賓に対して臨席のお礼、機器・資材メーカーならびに北海道印刷機材販売業者懇話会会員に対して、出展と協力のお礼を述べたあと、「印刷産業を取り巻く環境は、未だにアベノミクス効果が実感できなく、需要の減退、価格競争の激化による収益の著しい低下のなか、デジタル技術の急進展による技術融合、業際化、顧客におけるペーパーメディア生産の活発化など、様変わりしてきており、これまで経験したことのない、大きな変革への対応が迫られている。

さらにデジタル技術の目覚ましい発展により、情報伝達の手段が多岐になり、一層精度の高いプロの技術を探求し続

け、情報産業と製造業を兼備し、ソリューション・プロバイダーへ進化して行かなければ、将来展望は描けなくなっている。ソリューション・プロバイダーとして、社会の要求に応えるビジネスを推し進めるためには、自社の設備や技術力を充実・向上させることはもとよりであるが、同業者・関連業者・隣接異業種等とのコラボレーションを積極的に推進することも、一つの方法であり、新しいビジネス発掘の手がかりに繋がるものと考えられる。そのためには、最新の技術動向・情報を、収集し、実践することが必須であり、この『北海道情報・印刷産業展』に寄せられる期待は、年々高まって来ている。毎年、好評を博している公式セミナーは、今年は、『望まれる印刷・関連企業になるために【第8弾】』として、3つのジャンルで開催する。また、全道の皆様に、全国の優れた印刷製品を見て、触れていただける、『第55回全国カタログ・ポスター展入賞作品展』、『2014年第65回全国カレンダー展入賞作品展』を同時開催している。今年は、北海道印刷工業組合の『第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会』が、明日、隣の会場で開催され、本産業展の見学会が行われ、これまで以上の多くの来場者が見込まれる。3日間、事故なく、見学された方、出展された方、それぞれが実り多い成果が得られ、来年に繋がる素晴らし

印刷も Webも 電子書籍も

株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581
<http://www.syoubunsysa.co.jp>

80th ANNIVERSARY
おかげ
さま
で
80周年

CSR

GREEN PRINTING JPPF
F-10129
環境にやさしい印刷技術

シール・ラベル・ステッカー・特殊印刷物

HIROMI SANGYO Co., Ltd.

株式会社ヒロミ産業

GREEN PRINTING JPPF
G20010

札幌市西区発寒14条2丁目2-21
TEL 011-666-3323
FAX 011-666-3930
URL: <http://www.hiromisangyo.jp/>

CSR
P-00004

い産業展になるよう私も頑張るので、皆様からの支援をお願いしたい」と主催者を代表してあいさつを述べた。

次に、来賓紹介が行われたあと、代表して3人から祝辞が述べられた。



島田雄二氏
(北海道経済産業局)

島田雄二経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「我が国経済は、消費税引き上げの反動も和らぎつつある。道内は、業態・地域によりさまざまな動きをしているが、総じて景気は緩やかな持ち直しというところと思う。楽観できない状況も多々ある。特に地方地域においてはアベノミクスの効果はいかかかというところもある。政府としては先ほど日本再興戦略を改定した。アベノミクス効果を日本の津々浦々まで波及させようという取り組みをさらに進めようというところである。経済産業省としても日本の稼ぐ力の強化、そして中小企業の活性化を2大ポイントとして平成27年度概算要求をまとめたところである。印刷業界の皆さまにはこれまでのジェットコースターのような景気の変動もさることながら、社会の情報伝達媒体の急速な変化から各企業の事業環境が大きく変化していると私どもも認識している。しかし、印刷物は情報と文化の伝達媒体として、依然大きな存在感を持ち続けていることは間違いない。今後の印刷業界が生産性の向上、技術革新、顧客への提案などサービス力の向上というまさにソリューション・プロバイダーへ進化することによって、業界の新たな展開、発展が見えてくると期待している。今回の北海道情報・印刷産業展は、そういった皆様方の最新の印刷機械、周辺機器、関連設備といった展示がされているわけで印刷業界の皆様の日々の技術革新の成果、磨きかけられた顧客への提案力が一同に集結し、それをお披露目する場と思っている」と述べた。



中井英雄氏
(北海道)

中井英雄北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本道の経済は穏やかに持ち直していると言われているが、我々が企業からの声を聞くところでは、なかなか景気の回復が実感できないという声が非常に聞こえ

ており、そういうなかで昨今北電による電気料金再値上げの申請もあり、皆様方の経営はもとより本道経済に非常に大きな影響がでるのではないかと懸念している。一方、急速に進行している少子高齢化への対応をはじめ、人口減少に伴うさまざまな課題に直面しており、道としても将来にわたり、持続可能な北海道を築いていくためにも、ものづくり産業の振興、さらには中小企業の皆様や小規模事業者の支援など、地域を支える産業力の強化に重点的に取り組んでいきたい。

印刷業界では、電子書籍など新たな分野での収益モデルの確立に向けた動きが進むなかで、本産業展では、オンデマンドプリント機器や電子書籍作成ソフトの展示など、最新の情報技術の普及促進に向けた取り組みが紹介されると聞いており、業界が一丸となってイメージアップを図っていくという取り組みは大変重要だと思っている。その牽引役として北海道印刷工業組合をはじめとする皆様方の果たす役割は非常に大きいと思っている」と述べた。



早瀬京太氏
(札幌市)

早瀬京太札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課長は、「道内の印刷業界の皆様が一堂に会し、今後の業界の発展に向けた最新の機械、機器類を展示され、あるいはたくさんの情報が発信されるこの展示会で、来場される皆様方にとっては内外の経営環境に応じた新しいビジネスを展望され、新しいビジネスチャンスをもつ具体的につまみ取る絶好の機会になると思っている。札幌市内の製造業において、印刷業は食料品製造業に次ぎ製造品出荷額が2番目である。関連業種も多く、主要な産業の1つと認識している。印刷業に携わる皆様方は、昨今、需要の減少、価格競争の激化など大変厳しい経営環境に置かれていると伺っているが、こうした時代があるからこそ、新しい技術、知識を活用していただき、革新的なサービス、製品を世に中にどんどん出していくことが極めて重要になってくると思っている。こうしたことを通じて印刷業界の皆様方には、今後も札幌市の経済を支える基盤産業の1つの担い手として役割を担っていただきたい。札幌市では製品開発の支援

スクリーン印刷 ステッカー、プラスチック加工品、POP
スクラッチ、UVE印刷、点字印刷

ラミネート加工 バンフ、パッケージなどに●確かな技術
種類・スピード●名刺大からL全判まで

サイン工事 店舗、商業施設の屋内外サインの他、
自立看板、壁面看板などの製作施行まで



株式会社 特殊印刷

TEL(011) 811-1735

FAX(011) 822-1135

札幌市豊平区豊平6条3丁目4-25

「伝える」から「伝わる」へ

HATAMOTO
www.hatamoto.cc



を行う事業や電力使用の効率化を支援させていただき事業など、いろいろな場面で製造業に対する支援を行っている」と述べた。

次に、祝電披露が行われたあと、来賓の島田雄二経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、中井英雄北海道経済部産業振興局産業振興課長、早瀬京太札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課長と板倉清北海道情報・印刷産業展実行委員会会長、岸 昌洋同実行委員長（北海道印刷工業組合副理事長）によりテープカットが行われ、開幕した。

同産業展において、「第55回全国カタログ・ポスター展入賞作品展」ならびに「2014第65回全国カレンダー展入賞作品展」が同時開催された。

さらに、4日には「望まれる印刷・関連企業になるために【第8弾】」の3つのジャンルで、公式セミナーが開催され、大盛況であった。

より高度な技術と
省力化を目指す皆様に
創意と努力と信頼でお応えする。

印刷機材の総合商社

 **共同印刷機材株式会社**

本社 札幌市中央区北1条西18丁目1 ☎060-0001 TEL(011)611-7221 FAX(011)611-7224
出張所 函館市栄町2番5号 ☎040-0041 TEL(0138)23-5832 FAX(0138)23-5836
旭川市8条20丁目左9号 ☎078-8218 TEL(0166)35-8668 FAX(0166)35-8678

環境保全のための
社会貢献を致します

—産業廃棄物処理業許可—

 **株式会社 リプロワーク**
ReproWork

本社・工場／石狩市新港中央3丁目750番3
TEL(0133)64-4311(代) FAX(0133)64-4312
北見営業所／北見市豊地22-5
TEL(0157)36-0182・FAX(0157)36-0192

第20回北海道青年印刷人フォーラムならびに2014年度 全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会開催報告

去る9月6日(土)、アクセスサッポロにて、第20回北海道青年印刷人フォーラムならびに2014年度全国青年印刷人協議会(以下、全青協)北海道ブロック協議会が開催されました。

まず初めに、板倉理事長よりご挨拶を頂戴し、北海道経済・印刷業界の現状と全青協活動への期待のお言葉をいただきました。

全青協の大木議長の挨拶では、今期テーマ「グローバル」(グローバル+ローカル)についての説明と必要性、また地域活性プロモーターとして地域をブランディングし、ALL JAPANで地域資源を国内だけでなく、世界へ発信していく仕組み作りを全青協で行っていくこととお話いただきました。人口減少など市場では、世界との関係を考えていかななくてはならず、参加者からは興味と期待の声が聞こえてきました。

続いて全青協の恵副議長のグローバルセミナー基礎編へ移り、定義と志向、戦略など事例を交えながらお話いただきました。わかりやすく説明頂いた上に、当日参加されたソーゴ印刷さん(帯広支部)の事例が紹介され、台湾で発売されている「北海道移住の本」の現物を見ることができ、一層理解を深めることができたのではないかと思います。

その後、(株)プリプレスセンター藤田社長様に印刷業界が対応すべきグローバルの方向性について、3つの点についてお話いただきました。

- ・愚(グ)直にローカル~小規模に徹した小ロット対応の地域密着型経営
- ・地域に Good(グ)なローカル~コスト競争を回避した高付加価値型経営
- ・千万一隅(グ)のローカル~時代のトレンドを取り入れた投資型経営

その中でプリプレスセンター様は、時代のトレンドを取り入れた投資型経営に取り組み、国内外での展示会・国際会議の運営業務やフィリピンのセブ島でのデジタルコンテンツ事業などを紹介頂きました。非常に勉強となったとともに、同業者を相手に話をすることはあまりないという事で、貴重なお話を聞けたのではないかと思います。

全青協の伊藤副議長のワークショップでは、まず地域資源の洗い出しを各参加者で行い、その中から1つに絞り、それについてグループディスカッションに臨み、プロモーション内容やインバウンド&アウトバウンド戦略を考えていきました。知っているようで知らなかった地域資源の発見や、戦略として面白そうな意見が出て大変意義深いものとなったと思います。

最後になりますが、今回参加いただいた方、事例紹介していただいた藤田社長、会の設営に尽力いただいた札幌支部青年部の皆様に深く感謝致します。

青年部事業委員会 委員長 岡部 信吾



▲ 2014年9月6日 北海道ブロック 議長挨拶

▼ 2014年9月6日 北海道ブロック 事例紹介



印刷の月事業報告

今年の印刷の月事業として9月20日行われた『モエレ芸術花火2014』へパンフレットの印刷協力という形で協賛致しました。

パンフレットHP内に北海道印刷組合札幌支部の名前とロゴが掲示され、協賛チケットは組合員価格にて販売し、その売上でチケットを買い足すことで多数の方に提供する事ができました。

モエレ芸術花火来場者数は約15,000人、花火発数12,000発、芸術花火と銘打っているだけあり内容は1発1発が大きく綺麗な花火がモエレ沼公園の地形を活かして1枚の花の絵を描くような構成でした。

メディアにも多数取り上げられており来年はさらに大きなイベントになると思います。



「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」

■開催趣旨

各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責務を果たすためのコンプライアンス活動が求められています。全日本印刷工業組合連合会ではそれを踏まえて、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に取り組んでいます。

この取り組みをより強固なものとするために、一般社会に対してMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、印刷業界においては印刷技術の向上に貢献することを目指して、本年も「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催します。

コンペには創意工夫の凝らされた作品が数多く集まり、回を重ねるごとにレベルは向上しています。今回も一般の方だけではなく、高齢者・障がい者や子ども、外国人などすべての人に対して優しいデザインの実現を目的とする、斬新なアイデアに富んだ作品を募集します。

■応募期間 2014年 9月1日(月)～11月28日(金)〔当日消印有効〕

■応募作品〔例〕

- ・カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル
- ・ゲーム (UNO、トランプ等) など

■応募資格

一般の部：プロ・アマを問わず、どなたでもご応募いただけます。

学生の部：大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒。

■応募対象作品

2013年7月以降に制作されたものとします。

■応募方法

作品1点とデータ1点 (CD-Rにai/eps/jpeg/pdfいずれかの形式でアウトライン化して保存したものを、出品申込書とともにお送りください。

※入選作品に選ばれた場合、ご提出いただいたデータをもとに受賞作品集の制作を行います。

■出品料

一般：3,000円 (応募作品1点につき) 学生：無料

※2014年11月28日 (金) までにお振込願います。

■振込先

口座名義：全日本印刷工業組合連合会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 当座預金 9007457

みずほ銀行 京橋支店 当座預金 0114231

りそな銀行 東京中央支店 当座預金 1362911

商工組合中央金庫 本店 当座預金 2021935

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

■授与賞

◆一般の部

- ・経済産業大臣賞 (申請中)：表彰状、賞金100,000円
- ・優秀賞：表彰状、賞金 50,000円
- ・佳作：表彰状、賞金 10,000円

◆学生の部

- ・経済産業大臣賞 (申請中)：表彰状、図書カード30,000円分
- ・優秀賞：表彰状、図書カード10,000円分
- ・佳作：表彰状、図書カード 3,000円分

■主 催

全日本印刷工業組合連合会

■後 援〔予定・順不同〕

経済産業省
 一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
 読売新聞社
 朝日新聞社
 日本経済新聞社
 一般社団法人日本印刷産業連合会
 一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会
 公益社団法人日本パッケージデザイン協会
 日本図書設計家協会
 NPO法人 メディア・ユニバーサル・デザイン協会
 NPO法人 カラーユニバーサルデザイン機構

■協 力〔予定・順不同〕

東洋インキ株式会社
 株式会社イワタ
 EIZO株式会社
 株式会社モリサワ
 全国印刷緑友会
 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・SPACE-21
 日本青年会議所 メディア印刷部会

■審 査 日

予備審査：2014年12月16日（火）

本 審 査：2014年12月17日（水）

■審査結果発表日

2014年12月24日（水）

※入選者のみ入選通知書をお送りいたします。

■審査基準

- メディア・ユニバーサルデザインの観点から、見やすさにおいて優れているもの。
- 斬新な発想とアイデアにより、独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの。
- 色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせにより、メディア・ユニバーサルデザインの配慮がなされているもの。
- それぞれのメディア（部門）において、実用的かつ機能的なもの。

以上4点を総合的に勘案し審査を行い、最も優れた作品を経済産業大臣賞として表彰します。

■審査委員〔予定・敬称略〕

伊藤 啓（東京大学 分子細胞生物学研究所 脳神経回路研究分野 准教授）

経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 担当官
 一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 担当審査員

武者 廣平（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 理事長）

土生 英彦（色覚問題研究グループぱすてる 事務局長）

高橋 正実（MASAMI DESIGN）

橋田 規子（芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 教授）

日原佐知夫（創造意匠）

伊藤 裕道（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 理事長）

橋本 博（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 事務局長）

土屋 勝則（全日本印刷工業組合連合会 教育・研修委員会 委員長）

■表彰式

日 程：2015年2月もしくは3月を予定

会 場：未定

■注意事項

- 応募期間を過ぎての作品の応募、および振込期限を過ぎての出品料の振込がなされた場合は、審査および入選対象から除外しますので、ご注意ください。
- 作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、作品のサイズによっては実物による出品の受付ができない場合があります。
- 応募作品およびデータの返却はいたしません。

■知的財産権について

- 応募作品の知的財産権は、応募者に帰属することとします。従って、応募者は応募作品に関して、自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証するものとします。
- 応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似が認められる場合は、審査対象からの除外、または受賞を取り消す場合があります。
- 入選作品は展示・公開され、また応募作品は各種の印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合があります。また、その時に一部の変形及び翻案を行う場合があります。
- その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者が解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとします。

■作品応募先

〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11

公益社団法人 日本印刷技術協会内

「第8回メディア・ユニバーサルデザイン
 コンペティション」係

TEL：03-3384-3111

FAX：03-3384-3481

※応募作品の提出先が上記に変わりましたのでご注意ください。

■お問合せ先

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

日本印刷会館4F 全日本印刷工業組合連合会

「第8回メディア・ユニバーサルデザイン
 コンペティション」係

TEL：03-3552-4571

FAX：03-3552-7727

「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」出品申込書

(コピーしてご利用ください)

以下の項目を**全て**ご記入ください。

応募資格	①一般の部 ②学生の部 (いずれかに○をつけてください)		
企業名/学校名			
(ふりがな)			
出品者氏名			
連絡先の区分	①企業 ②学校 ③自宅 (いずれかに○をつけてください)		
住 所	〒		
T E L		F A X	
E - m a i l			
発行会社 (クライアント)			
作 品 名			
工夫点 (右の枠の中で、 作品のポイント を簡潔にご記入 ください)			

募集要項を理解した上で、「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」に応募します。

署 名 _____ 印 _____

※出品者名と異なる方が出品料をお振り込みになる場合のみ、下記振込人名義をご記入ください。

振込人名義 _____

● 全日本印刷工業組合連合会

「特別ライセンスプログラム“CC”」 2014 更新手続き・新規募集のご案内

全印工連では、本年度もアドビシステムズ株式会社の協力を得て、「Adobe Creative Cloud(略称:CC)」を組合員に特別価格でご提供する「特別ライセンスプログラム“CC”」(2014)の契約更新(補正含む)と新規募集を行います。

本年度も、昨年度と同様にCC+CSの下位バージョン使用权付(従来のCS Design Premium 6.0またはCS Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用許諾権付)のAプランと、CCのみのご利用となるBプランをご用意しました。

是非、「特別ライセンスプログラム」へのご参加をいただきますようお願いならびにご案内を申し上げます。

(※1)下位バージョンの使用が許諾されるのは「Aプラン」でのご契約に限られます。

特別割引キャンペーン!!
「早期お申し込み、お支払い割引」について
契約更新(補正含む)と新規募集について、下記の①～③のキャンペーン条件を全て満たすことにより、1本につき2,000円を割引いたします。お早目のご検討、お申し込みが大変お得になります!!
(特別割引キャンペーン条件)
① 既参加企業は現契約数以上の更新、新規参加企業はDTP用PC全台数分までのご契約。
② 10月20日までにお申し込み。 ③ 10月31日までにお支払いを完了。

※お支払いにつきましては、全日本印刷工業組合連合会からの請求書が到着してからお願い申し上げます。

※全印工連が指定する期日までに代金をお支払いいただきます。指定期日を過ぎた場合は、無効となりますのでご注意ください。

※契約、申込方法等に関するお問合せは、全日本印刷工業組合連合会(TEL:03-3552-4571/担当:抜井、池尻)までお願いします。

1 特別ライセンスプログラムへの参加メリット

メリット1 これまでにない特別価格!!

全印工連のスケールメリットを最大限に活用して、全印工連傘下の組合員という限定条件で、これまでにない特別価格とサポート体制を実現します。

メリット2 常に最新のCCが利用可能!!

特別ライセンスプログラム契約を結ぶことにより、契約期間中は常に最新のCCのご利用が可能となりますので、契約期間中は無償(インストールメディア代のみ有償)で最新バージョンのCCをご提供します。

メリット3 下位バージョンの使用も可能!!

Aプランで、ライセンスプログラムに参加されますと従来のCreative Suite® Design Premium 6.0またはDesign Standard 6.0以下の下位バージョンの使用に関する許諾が得られることとなり、同一PCに下位バージョンをインストールして使用することができるようになります。これにより、著作権侵害のリスクを軽減することができ、企業コンプライアンスと社会的信用度を高める効果が期待できます。

2 特別ライセンスプログラムへの参加条件

参加条件1 参加資格: 全印工連傘下47都道府県印刷工業組合に所属する組合員企業

参加条件2 契約期間: 2年間(途中での契約解除・脱退・返金はできません)

参加条件3 参加条件: 参加するためには以下の諸条件についての同意が必要となります

- ① 契約期間中は全印工連がサブスクリプション(期限付き使用权)の管理を行います。
- ② 会社が保有するDTP用PC全台数分のCCを購入していただきます。(Mac版、Windows版が混在していても構いません)
- ③ すでにCS5/CS6を購入されている場合、それぞれの本数分のCC Upgrade料金で本プログラムに参加することができます。その場合、ご使用中のCS5/CS6のシリアルナンバー等の確認をさせていただきます。
- ④ 契約後1年経過時に会社が保有するDTP用PC全台数と、インストールされた製品の本数をご確認いただき、購入本数より超過があった場合は補正をしていただきます。
- ⑤ 契約期間中に購入本数に対して利用本数が減った場合でも、その払い戻しはいたしません。
- ⑥ 契約期間満了時まで契約内容の変更、中止はできません。
- ⑦ 上記内容を含む契約を全印工連と結んでいただきます。

3 プランの概要

A プラン CC+CS Design Premium または CS Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用権付プラン

A-1プラン Creative Suite® Design Premium 6.0以下の下位バージョン使用権付

A-2プラン Creative Suite® Design Standard 6.0以下の下位バージョン使用権付

※なお、すでに全印工連と下位バージョン使用権付をご契約している場合は、利用料のみのお支払いとなります。

B プラン CCのみのご利用で従来のCS 6.0以下の下位バージョン使用権が付かないプラン

B-1プラン CCE (FULL) の新規購入

B-2プラン CCE (FULL) CS5/6からのアップグレード

B-3プラン CCE (DWP) (CSのPremium相当) の新規購入

B-4プラン CCE (DWP) (CSのPremium相当) CS5/6からのアップグレード

B-5プラン CCE (DS) (CSのStandard相当) の新規購入

B-6プラン CCE (DS) (CSのStandard相当) CS5/6からのアップグレード

※各々のアップグレード版をご購入の場合は、CS5/CS6のシリアルナンバーの証明書の提示が必要となります。

特別ライセンスプログラムご提供価格

下記のご提供価格は1年分の料金を表示していますが、実際の全印工連とのご契約期間は2年間となりますので、お支払い時には一括で2年分のご請求となることを予めご理解願います。また、Aプランの場合の「下位バージョン使用権料金」は契約本数分が発生します。(下位バージョン使用権は初回だけのお支払いです。なお、すでに当プログラムに参加されている企業で下位バージョン使用権付をご契約されている場合は、今回は利用料のみのお支払いとなります。)

A プラン

〈 1 下位バージョン使用権 + 2 利用料金 の合計金額となります、消費税は含まれていません 〉

A-1 プラン Creative Suite® Design Premium 6.0 以下の下位バージョン使用権付

計算方法=[115,000円×契約本数]+[下記利用料(×2年間)×契約本数]

利用料	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本以上
CS Premium (相当)	33,000	32,500	32,000	31,500	31,000	30,500	30,000	29,500	29,000	28,500	28,000
CCFULL NEW	75,000	74,500	74,000	73,500	73,000	72,500	72,000	71,500	71,000	70,500	70,000
CCFULL Upgrade	60,000	59,500	59,000	58,500	58,000	57,500	57,000	56,500	56,000	55,500	55,000

A-2 プラン Creative Suite® Design Standard 6.0 以下の下位バージョン使用権付

計算方法=[100,000円×契約本数]+[下記利用料(×2年間)×契約本数]

利用料	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本以上
CS Standard (相当)	30,000	29,500	29,000	28,500	28,000	27,500	27,000	26,500	26,000	25,500	25,000
CCFULL NEW	75,000	74,500	74,000	73,500	73,000	72,500	72,000	71,500	71,000	70,500	70,000
CCFULL Upgrade	60,000	59,500	59,000	58,500	58,000	57,500	57,000	56,500	56,000	55,500	55,000

※なお、すでに下位バージョン使用権付をご契約している場合は、利用料のみのお支払いとなります。

B プラン

〈 CCのみのご利用、消費税は含まれていません 〉

B-1・2プラン CC FULL (Complete) 利用料 (1年分、下記の表をご参照下さい。)

利用料	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本以上
1. NEW	75,000	74,500	74,000	73,500	73,000	72,500	72,000	71,500	71,000	70,500	70,000
2. Upgrade	60,000	59,500	59,000	58,500	58,000	57,500	57,000	56,500	56,000	55,500	55,000

B-3・4プラン CS Design Premium 相当利用料 (1年分、下記の表をご参照下さい。)

利用料	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本以上
3. NEW	52,500	52,000	51,500	51,000	50,500	50,000	49,500	49,000	48,500	48,000	47,500
4. Upgrade	39,500	39,000	38,500	38,000	37,500	37,000	36,500	36,000	35,500	35,000	34,500

B-5・6プラン CS Design Standard 相当利用料 (1年分、下記の表をご参照下さい。)

利用料	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本	11本以上
5. NEW	43,500	43,000	42,500	42,000	41,500	41,000	40,500	40,000	39,500	39,000	38,500
6. Upgrade	35,500	35,000	34,500	34,000	33,500	33,000	32,500	32,000	31,500	31,000	30,500

※【B-1・2プラン】 以外は、Muse/Edge等のアプリケーションは使用できません。

環境・労務委員会より

全印工連CSR認定のご案内

－第7回ワンスター認定募集（2014年10月31日〆）－

QCD（品質・コスト・納期）の競争から企業価値の競争へ。企業としての信頼性や社会的責任が問われる中、全日本印刷工業組合連合会（以下、全印工連）では、CSR（企業の社会的責任）研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと中小印刷業 CSR 規格を策定し、地域に密着した CSR に取り組み、顧客・社会から必要とされるパートナーとして成長する企業の CSR 認定に取り組んでいます。（2014年8月現在 CSR 認定企業は73社）

全印工連 CSR 認定の標準認定であるワンスター認定の第7回認定募集を行いますので、これから CSR に取り組む方も既に取り組まれている方も、ご利用くださいますよう、ご案内申し上げます。

応募資格

都道府県印刷工業組合に所属する組合員企業

募集期間

2014年8月1日（金）～10月31日（金） ※ 2014年12月認定登録（予定）

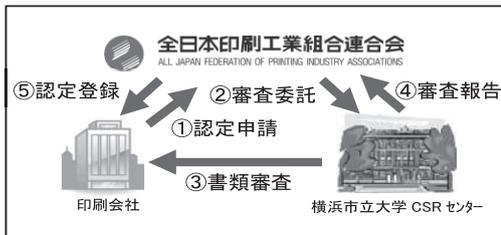
申請書類

応募申込書の到着後、全印工連より申請書類をお送りいたしますので、次の①～⑤を提出して下さい。

- ① CSR取り組み項目チェックリスト
- ② 法令遵守宣誓書（所定様式）
- ③ 納税証明書（税務署が交付した証明書）
- ④ 過去3年の行政処分がないことの宣誓書（所定様式）
- ⑤ 添付書類（CSR取り組み項目チェックリストで選択した項目を証明する書類）

認定の概要

ワンスター認定は CSR 認定の標準認定であり、審査機関の横浜市立大学 CSR センターが書類審査を実施し、外部の有識者で構成する全印工連 CSR 認定委員会認定委員会において認定します。認定企業は、CSR マークを自社の名刺やホームページ、顧客の印刷製品に表示することができます。認定取得後は2年毎に更新審査を行い、上位認定であるツースター認定を取得することも可能です。



CSR 認定証



認定費用

（単位：円・税込み）

従業員数	1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～99	100～199	200～299	300～
認定費用	54,000	59,400	64,800	75,600	86,400	97,200	108,000	118,800	129,600

※認定費用は従業員規模により異なります。従業員数には従業員のほか役員も含まれます。

お問合せ

全印工連 CSR 認定事務局 TEL 03-3552-4571 e-mail csr@aj-pia.or.jp
 詳細はホームページをご覧ください



CSR認定制度 第4期5社を認定

<北海道の認定企業> (株)ヒロミ産業 (P-00004) 中村印刷(株) (P-00015) 植平印刷(株) (P-00045)
 (株)プリプレスセンター (P-00010) (株)正文舎 (P-00023)
 (株)アイテックサプライ (P-00013) 北陽ビジネスフォーム(株) (P-00024)

※ファクシミリ(03-3552-7727)にてお申し込みください

新規

〒104-0041

東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階

全日本印刷工業組合連合会事務局 御中

お申込日 平成 年 月 日

全印工連CSR認定制度 ワンスター認定応募申込書

全印工連CSR認定制度(ワンスター認定)に応募するため、次のとおり申込みます。

CSR認定申込企業(必須)	会社名	(フリガナ)					
	代表者氏名	(フリガナ)				役職名	
		(漢字)	印				
	従業員数	※役員及び正規・非正規を含む全社員数をご記入ください 名 (役員及び正規・非正規を含む全社員数)			工組名	※所属する印刷工業組合の都道府県名をご記入ください 印刷工業組合	
	所在地	〒	—	TEL ()	—	FAX ()	—
担当者氏名	(フリガナ)				所属部署		
	(漢字)				役職名		
					E-mail	@	

請求書宛先	会社名	(フリガナ)					
	氏名	(フリガナ)					
		(漢字)					
所在地	〒	—	TEL ()	—	FAX ()	—	

<記入上のご注意>

- ・ご請求書の宛先が認定申込企業宛と異なる場合のみご記入ください。

全日本印刷工業組合連合会受領印 横浜市立大学CSRセンター受領印

--	--

経営・革新マーケティング委員会より

Canon

FUJI XEROX



RICOH
imagine. change.

北海道印刷工業組合札幌支部 経営革新・マーケティング事業委員会主催

PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアーのご案内

経営革新・マーケティング事業委員会は、PODメーカー4社の協力をいただき、「最新のプリントオンデマンド技術を利用したビジネスモデル構築」をテーマに、「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」を下記により開催します。

見学終了後、見学メーカーの方々と交えて懇親会を開催します。情報交流と親睦の場としてご活用ください。

記

1. 日 時：11月11日(火)
2. 集 合：9時45分／キヤノンマーケティングジャパン株式会社札幌支店
3. 募集人員：40名(先着順)
4. スケジュール
 - ①10時00分～11時30分／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
11時40分：富士ゼロックス株式会社に移動
富士ゼロックス株式会社にて、昼食(昼食付)
 - ②12時40分～14時10分／富士ゼロックス株式会社
14時10分～14時20分：コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社に移動
 - ③14時20分～15時50分／コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
15時50分～16時00分：リコージャパン株式会社に移動
 - ④16時00分～17時30分／リコージャパン株式会社
17時30分～17時40分：リコージャパン株式会社にてアンケートの実施
17時40分～18時00分：懇親会場へ移動
5. 懇 親 会：18時00分～／場所：サッポロビール園
6. 懇親会費：4,000円(参加者のみ)
7. 申込方法：別紙の申込用紙に記入の上、ファクシミリで北海道印刷工業組合札幌支部(011-531-4853)までお送りください。

お問い合わせ先：北海道印刷工業組合札幌支部／五十嵐(電話：011-531-6061)

※全行程、貸し切りバスでの移動となります。懇親会終了後、ススキノまでバスを運行します。

★各社の見どころ

● キヤノンマーケティングジャパン株式会社

『課題解決が成功の秘訣!! 業態変革に取り組んだデジタル印刷の活用事例セミナーと皆様のビジネスチャンスを広げる新製品カラーデジタル印刷機imagePRESS C800の実践デモをご覧ください』

● 富士ゼロックス株式会社

地域を支え皆様のニーズに応えるFFGS、富士ゼロックス北海道と富士ゼロックスは、大きく変化する環境の中でデジタルに於ける様々なシーンでのビジネス価値を付けた事例や最新のデジタル機器を皆様にご覧いただけます。

● コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

デジタル印刷のエントリーモデルとして商業印刷市場で圧倒的なご支持を頂いております、bizhubPRESS C1070の実機デモと印刷需要喚起、新ビジネスをイメージできる実物サンプル等、具体的な事例を多数ご紹介いたします。

● リコージャパン株式会社

様々なお客様の成功事例や成果物サンプルとプロのニーズに応える最新オンデマンド機。そして新たな商材で売上拡大を目指すワイドフォーマット機や新製品のWeb to Printプラットフォームを紹介させていただきます。

「全印工連CSR第7回ワンスター認定事業」のご案内

～応募締切、10月31日～

全日本印刷工業組合連合会は、企業としての信頼性や社会的責任が問われるなか、CSR（企業の社会的責任）研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと、中小印刷業CSR規格を策定し、地域に密着したCSRに取り組み、顧客・社会から必要とされるパートナーとして成長する企業のCSR認定を行っています。

「全印工連CSR認定制度」の第7回ワンスター認定募集を、8月1日から10月31日まで行っています。詳細は、下記ホームページ（全印工連）をご覧ください。

【ホームページアドレス】http://www.aj-pia.or.jp/pdf/140805_onestar.pdf

「個人情報保護法等の遵守」のご案内

～経産省が、日印産連に協力要請～

経済産業省は、今般、教育関係事業者において、極めて多数の個人情報漏えいという事実を踏まえ、日印産連に対し、個人情報保護違法等の遵守に関する周知を図るよう協力要請を行いました。

詳細は、下記ホームページ（全印工連）をご覧ください。

【ホームページアドレス】http://www.aj-pia.or.jp/welcome/what's_new/whatsnew_140828.html

「第5回キャリア教育アワード」のご案内

～応募締切、11月10日～

経済産業省は、次世代を担う若者育成のため、企業等が行う、教育活動支援事例を募集し表彰する「キャリア教育アワード」を実施しています。

全4つの表彰部門には、単独もしくは複数社で協力してキャリア教育に取り組む中小企業部門が設置されています。

詳細は、下記ホームページ（経産省）をご覧ください。

【ホームページアドレス】http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/career-education/award_entry.html

「高齢者雇用継続給付・育児休業給付・介護休業給付の支給限度額改定」のご案内

～厚労省、8月1日改定～

厚生労働省は、8月1日に、高齢者雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付の支給限度額を改定しました。

これは、「毎月勤労統計調査」の平均定期給与額の動向をもとに、毎年8月1日に改定しているものです。支給限度額は以下のとおりです。

＜高齢者雇用継続給付＞（平成26年8月以降の支給対象期間から変更）

支給限度額 341,542円 → 340,761円

最低限度額 1,848円 → 1,840円

＜60歳到達時等の賃金月額＞

上限額 448,200円 → 447,300円

下限額 69,300円 → 69,000円

＜育児休業給付＞（初日が平成26年8月1日以降の支給対象期間から変更）

上限額（支給率67%） 286,023円 → 285,420円

上限額（支給率50%） 213,450円 → 213,000円

＜介護休業給付＞（初日が平成26年8月1日以降の支給対象期間から変更）

上限額 170,760円 → 170,400円

詳細は、下記ホームページ（厚労省）をご覧ください。

【リーフレット】

【ホームページアドレス】<http://krs.bz/roumu/c?c=10132&m=28009&v=e3b4d1ea>
8月1日から雇用保険の基本手当（失業給付）の日額も変更になりました。

【リーフレット】

【ホームページアドレス】<http://krs.bz/roumu/c?c=10133&m=28009&v=463f41e4>

【高齢者雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付の詳しい制度内容】

【ホームページアドレス】<http://krs.bz/roumu/c?c=10134&m=28009&v=886fbd4c>

セミナーのご案内

リコージャパン株式会社

RICOH
imagine. change.

今を高めて
未来を創る。

Value
Presentation
2014

札幌会場 ロイトン札幌

10/21(火)・22(水) 10:00-18:00 (17:30受付終了)

Print On Demand

プロダクション プリンティング サービス事業本部は、Value Presentation 2014の売上拡大ゾーンにおいて様々な販促ツールをワンソースマルチユースで使用する例をご紹介しますほか、最新のプロダクションプリンター、クラウドベースの印刷受発注システムのご紹介をいたします。

Value Presentation 2014

CCS セミナー

セミナー No. : 21-R-2

日時 : 10月21日 14:00 ~ 15:30

会場 : 2階リージェントホール

定員 : 50名

売上拡大力 “覚醒” ゼミナール

～貴社の本当の“価値”伝わってますか？
お客様に選ばれ続ける秘訣お教えします～

株式会社バリューマシーンインターナショナル
代表取締役社長

河島 弘司 氏



(講演概要)

スマートフォン、タブレットの普及により、お客様の「買い方」「選び方」が根本から変わった今、これまでと同じ販促の「やり方」では、期待する効果が得られることは少ないでしょう。それどころか“常連さん”まで失いかねません。本セミナーをきっかけに、もう一度、自社の“販促物”を見直し、お客様に選ばれ続ける“基準”と、その“伝え方”を考えませんか？

講師プロフィール

広告代理店にて地域ブランディング、国際コンベンション企画プロデュース、新製品マーケティングなど手掛ける。その後、次世代のマーケティングを実現する戦略ツールとしてPOD技術の可能性に魅せられ、創世期からPODメーカー、ベンダー、印刷系ITベンチャーにて商材開発、マーケティング、企業営業に従事。2003年にコンサルティングファーム、(株)バリューマシーンインターナショナルを立ち上げ、代表取締役に就任。クロスメディアソリューション研究会主宰、NPO法人プリントミックスディレクター、NLP神経言語プログラミングプラクティション。

(ご注意事項)

- セミナーは事前申込制でございます。(申込については弊社、営業担当にお尋ねください)
- お申込みご希望多数の場合は、お申込みをお断りすることがございます。
- 講演開始時刻5分前には、セミナー会場にて受付、ご入場をお済ませください。
- セミナー開始後のご入場はお断りする場合がございますので、予めご了承ください。
- 講演内容・講師は変更される場合がございますので予めご了承ください。

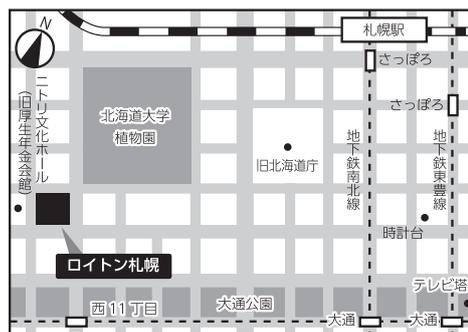
開催会場のご案内

ロイトン札幌 Royton Sapporo
北海道札幌市中央区北1条西11丁目1
TEL : 011-271-2711

交通案内 access

※会場へは公共交通機関でお越しください。

- JR線 ■ JR 札幌駅よりタクシー約5分
- 地下鉄 ■ 地下鉄東西線
「西11丁目」下車→徒歩3分



【お申し込み】 担当セールスへご相談ください

【お問い合わせ】 リコージャパン株式会社 POD販売グループ 011-700-5505

岩橋印刷株式会社

〒063-8580 札幌市西区西町南18丁目1番34号 TEL.011-669-2500 FAX.011-669-2600



代表取締役

中川 恒之

岩橋印刷株式会社は、1922年（大正11年）に大通西9丁目で岩橋印刷所として創業した。1946年（昭和21年）に現商号の法人となり、1966年（昭和41年）に、現在の西区西町南18丁目に移転した。11月で創業から93年、後7年で100周年を迎える。

1957年（昭和32年）、北海道で初の凹版（グラビア）印刷を導入。1969年（昭和44年）にはフォーム印刷を導入。1989年（平成1年）には、三菱四六全4色機を導入し、B全ポスターや包装紙等のニーズに対応。2003年（平成15年）には当時道内で4台目となるハイデル菊全8色両面兼用印刷機を導入し、急激に進むデジタル化に伴う短納期のニーズにいち早く対応した。枚葉印刷工程には現在、上記印刷機を含めて7台（計28胴）の印刷機が稼働中。その他フォーム印刷工程においても印刷機2台と丁合機2台、コレクター1台を設備している。

製本設備も、折機5台、断裁機3台、中綴機1台、無線綴機1台、マール貼機1台、穿孔機2台…と充実のラインアップ。

製版工程においては、色校や少部数のポスター用に大型インクジェットプリンタを2台設備。また、デジタル化が進んだ現在でもまだポジフィルムを支給されることが結構あり、フラットベッド型だけでなく、より高性能な縦型ハイエンドドラムスキャナも設備している。

最近では、多品種少ロットの仕事にも対応できるように、リコーのオンデマンド機を昨年導入した。少部数のチラシや年賀状等のはがきやカード・名刺の印刷をはじめとして、バリアブル印刷やカッティングプロッターを使ってのポップの作成など、多彩な販促ツールのニーズにも対応している。

2007年（平成19年）には、岩橋印刷オリジナルの高色域高精細印刷「ハイビジョンカラー」を開発。2009年（平成21年）に「ハイビジョンカラー印刷」として商標登録した。「ハイビジョンカラー」は、通常の印刷に比べてモニターやテレビ画面の色域に近い色域を再現出来ることから、特に写真の色の再現にこだわるフォトグラファーには好評を得ている。また、油絵や水彩画の画集の作成でも使用するなど実績を重ねており、未だに進化を続けているとのこと。

今後は、菊全8色両面兼用機や四六全4色機をはじめとした充実した設備群と「ハイビジョンカラー印刷」等の技術力、オンデマンド機等の最新デジタル機器を最大限活用し、「メディアの多様化に対応したワンストップサービスを推進したい」とのことであった。



両面兼用印刷機
Speedmaster SM 102-8P



縦型ハイエンドドラムスキャナ
Primescan D 8400

[企業データ]

岩橋印刷株式会社

創業	1922(大正11年)年11月18日
資本金	50,000千円
住所	〒063-8580 札幌市西区西町南18丁目1番34号
電話番号	011-669-2500(代表)
FAX番号	011-669-2600
URL	http://www.iwahashi-printing.co.jp/

札幌支部では、組合員企業に有益な情報を配信するために本誌、「プリンティング札幌」の誌面やファクシミリ等で研修会のご案内、事業のお知らせ等を行っておりますが、有益な情報をより即時にご提供するために貴社のメールアドレスのご登録をいただきたくお願い申し上げます。

何卒、主旨をご理解いただきまして、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが別紙の申込用紙に必要事項をご記入いただき、メールもしくはFAXにて組合事務局までご返信くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

9月5日(金)に第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会が無事終了いたしました。組合員並びに関連業各位のご協力により大成功だったと思っております。この場をお借りしお礼申し上げます。「燃え尽き症候群？」という感じで心にぽっかり穴があいた状態ですが、実りの秋到来、おいしいものをたくさん食べてまた頑張ります！

札幌支部 事務局 五十嵐

創造と提案、そして前進

大丸藤井
大丸藤井株式会社

本社 / 札幌市白石区菊水3条1丁目
☎(011)818-2111(代表)
紙包材営業部 / 札幌市西区発寒10条14丁目
☎(011)664-3111(代表)



株式会社 サクマ

- 印刷用紙・特殊用紙・OA関連用紙 ● OA機器・化成品・家庭紙
- 社内印刷用紙・板紙・包装資材

本社 〒060-0051 札幌市中央区南1条東4丁目
TEL 011-231-5633 FAX 011-231-5639
フリーダイヤルFAX 0120-390255

札幌東営業所 〒003-0012 札幌市白石区中央2条2丁目
TEL 011-842-0022 FAX 011-841-0380

札幌西営業所 〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目
TEL 011-631-4181 FAX 011-631-4184



エイチケイエム紙商事株式会社

http://www.hk-m.co.jp

〒006-0832 札幌市手稲区曙2条4丁目3-27

本社 / Tel.011-699-8686 Fax.011-699-8687

製本事業部 / Tel.011-699-7887 Fax.011-699-7888

紙加工事業部 / 札幌市西区二十四軒2条1丁目1-68
Tel.011-643-9565 Fax.011-641-7144

室蘭営業所 / 室蘭市寿町2丁目16-5
Tel.0143-43-1843 Fax.0143-43-1712

環境に配慮した新しい文化創造の、トータル・プランナーとして。



紙・包材の総合商社

日藤株式会社

本社 〒060-8721 札幌市中央区北3条西14丁目2番地
TEL(011)210-2100 FAX(011)261-6034
支店 / 道東・道南・道北 営業所 / 釧路・東京

FUJIFILM



新次元エコの第2章が、始まる。

環境対応サーマルCTPシステム[エコネクス II]



富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フイルム札幌ビル
011(241)9325 ホームページ http://fjgs.fujifilm.co.jp

21世紀の新しい印刷産業を探究

☆求めるのは☆

『驚きと感動のものづくり』

情報価値創造企業の実現をお手伝い

国内外のトップメーカーを知り尽くした

フカミヤが納得のネットワークシステムをご提案

印刷機材の総合ディーラー

株式会社 **フカミヤ** 札幌市中央区大通西8丁目
電話 011-231-7147

FUJIFILM

富士フイルム<感圧紙>

富士フイルム ビジネスサプライ株式会社

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目1番地(富士フイルム札幌ビル) TEL (011)241-9400



ドライバーしかなければ
たぶん攻略できない。



多彩な機能を、この一台に凝縮。

一本のクラブだけでコース上のさまざまな状況に対応するのが難しいように、単一の機能や性能だけでさまざまなお客様のニーズに応えることは困難でしょう。Versant™ 2100 Pressは、高速、高画質、幅広い用紙対応など、多彩な機能を一台に凝縮。パーソナル印刷や少数印刷など、多用途に活用いただけます。しかも優れたコストパフォーマンスを実現し、デジタル印刷機の導入を躊躇されていたお客様にもおすすめです。Versant™ 2100 Pressで、ビジネスチャンスを広げましょう。

高速
100ページ/分

少量も大量も
短納期で

高画質
カラー2,400dpi

オフセット印刷
との併用も

薄~厚紙
52~350g/㎡

パッケージや
ノベルティの作成に

長尺※
660mm

店舗用POPや
本の帯の作成に

**優れたコスト
パフォーマンス**

エントリー機として
また複数台導入にも

売上の
拡大へ!

※長尺は、手差しトレイから対応が可能



Versant™ 2100 Press